

## 主体的で深い学び実現

相違する意見から考え方広げ

**【旭川発】**旭川市立旭川第三小学校（三木勝仁校長）は、旭川市教委による市教育実践推進事業の指定を受け、1人1台端末を活用した指導方法に関する実践研究を進めている。端末を活用した指導力向上を図るため、実技研修や授業参観、実践レポート交流などを計画的に実施。あす8日にオンライン開催される道国語教育研究大会上川・旭川大会に向けてロイコノートを活用した授業動画を公開し、研究の一端を披露する。

**商業施設用地確保へ  
公共施設、宅地造成も計画**

**【帯広発】**帯広市教委は、令和4年4月に開校する施設一体型の大空学園義務教育学校にかかるて、大空小学校跡地施設利用方針をまとめた。大空小学校は解体し、跡地は商業施設用地としての活用を検討する。このほか、宅地の造成、緑地の整備を計画している。

大空小の敷地面積は2万7774平方㍍。校舎は延床面積6576平方㍍の鉄筋コンクリート造3階建、体育館は延べ床面積1038平方㍍の鉄骨造2階建の構造となっている。

来年4月に開校を予定している施設一体型の大空学園義務教育学校の建設にかかるて、大空小の校舎と体育館は建物の老朽化が進行していることから解体する。住民から要望のある避難施設や屋外活動の場所は、建設中の大空学園義務教育学校の特別教室施設への転用、緊急避難施設としての屋内体育館の存続、屋外運動場の確保を要望する声が上がったことを踏まえ、跡地施設の方針案をまとめた。

校舎と体育館は建物の老朽化が進行していることから解体する。住民から要望のある避難施設や屋外活動の場所は、建設中の大空学園義務教育学校の特別教室

跡地は、商業施設用地として、公共性の高い施設を併せて検討。また、大地区の人口が緩やかな増傾向にあることから、敷地の一部を宅地として造成して子育て世代の呼び込み図り地域の活性化を目指す。グラウンド北側に埋された緊急貯水槽の地上部分は緑地として活用する校舎と体育館の解体年度に実施設計を行い、年度に工事着手する方向調整を進めている。

市内各小・中学校28校の特別支援学級と、旭川盲学校で、9月26日から10月2日まで、道立校職員1人を含む教員を対象にした新型コロナ感染調査が実施されました。この結果、道立校職員1人が陽性反応となりました。この職員は、9月26日から10月2日までの間、道立学校職員として勤務していました。この職員は、他の職員や生徒との密接な接触があり、また、他の職員や生徒との間で感染が広がる可能性があるため、道立学校職員として勤務する際には、常にマスクを着用し、手洗いなどの感染予防策を実行する必要があります。

【旭川発】旭川幼稚園園長は、30日左  
から同園で令和元年研究大会を開き、  
ナウイルス感込のため、参加人数を  
限定して行う。

附属旭川幼

様々な素材を使った作品を展示

研究上川・旭川大会  
構成を考える  
実動画配信



附属旭川幼  
大限で  
大会を

様々な素材を使った作品を展示